

「五感を使って体験しよう！おやかんかく発見隊」

1. 趣旨

五感を活かした親子での体験活動を通して、豊かな情操を育むための体験活動に対する保護者の理解を深めることを目的とする。

2. 協力

アトリエ自遊楽校（宮城県仙台市） （株）ニッコクトラスト

3. 事業の概要

(1) 期日 平成2月18日（土）～2月19日（日）〔1泊2日〕

(2) 参加者

①参加対象 幼稚園・保育所年中、年長児を含む家族 30組70名

②参加人数 30組90名（年中、年長児30名 保護者44名 小学生3名 乳幼児13名）

※参加者の小学生、乳幼児は兄弟として参加

※参加者の住まいの地域

・仙台市・富谷市・塩竈市・石巻市・栗原市・登米市・大崎市・松島町・利府町・美里町・白石市・色麻町

4. 企画・運営のポイント

- ① 「五感を使って～」の事業名を意識し、「触覚」「嗅覚」「聴覚」「視覚」「味覚」を使っていることを強く感じられるプログラム構成にする。
- ② より多くの体験活動を1家族に十分体験してもらうために、2日目のプログラムを2つ実施する。
- ③ 子育てカフェを設け、ボランティアによる子どもプログラムを企画実施し、保護者の情報交換の場を作る。

5. 日程

2月18日（土）	
午後	13:30 『はじまりの会』
	14:00 雪上活動『つめたいとあったかい！雪遊び、たき火、いのちのあたたかさ』
	16:30 入浴、夕食
夜	18:30 表現活動『見て、聞いて表現しよう！あきらちゃんコロケくん遊び歌コンサート』 出演者：アトリエ自遊楽校 あきらちゃんコロケくん
	20:20 保護者：ゆっくりタイム『子育てカフェ』 幼児：ボランティア企画『お兄さんお姉さんと遊ぼう探検ゲーム』
	21:30 就寝

2月19日（日）	
午前	7:15 朝のつどい、健康観察
	8:30 朝食
	9:10 造形活動と調理（AB班入替） ①『粘土で作ろう、ランプシェード』 職員：奥山 洋 ②『実験、発見、素材味』 協力：ニッコクトラスト
	11:50 昼食
午後	12:50 アンケート記入
	13:00 『おわりの会』

6. 主な活動



「そり滑りを楽しむ親子」



「うさぎにふれる子ども」



「積極的に参加する子どもたち」



「お母さん同士の語り合い」



「親子で一つの作品作り」



「スープ素材を切る様子」

7. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：76.7% やや満足：23.3% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・雪上活動では、雪遊びだけでなく動物などのふれあいなどもあり興味を持ち続けることができた。コンサートは参加型なのがよかった。粘土は家族で何か作るのが楽しかった。子どもが楽しんでいて表情がとてもよかったです。子どもが好きな活動でした。
- ・子育てカフェでは、お互いの子どもとの接し方を聞いたことがとても参考になりました。調理では、友達と共同作業できる楽しさがいつもすることのない調理を面白くさせていたと思います。
- ・皆の前に出ることや、友達をつくるのが苦手な娘だったので、そのどちらかのきっかけになる内容でありがたかったです。
- ・たくさんの雪の中で遊ぶことがなかなかできないのでよかった。コンサートは子どもがはずかしがりやで表現活動に慣れさせるきっかけになった。調理は食べるのが好きで、料理に興味があるので、包丁を握らせる機会があってよかった。
- ・自然についての感受性を高めるとともに知らない子どもたちと打ち解けて友達になれる積極性をつけさせたいと思っています。

(3) 成果

- ①多くの参加者の方から参加してよかったという感想をもらうことができた。盛りだくさんの内容だったが、たくさんのプログラムを体験してもらい、体験活動について考える機会を提供できた。
- ②「そり、チューブ」「動物」「たき火」「ハイキング」など、雪中プログラムを予め増やしておいたことで、雪不足であっても参加者が様々な雪上体験を楽しむことができた。
- ③体験活動の指導では食堂からの協力、専門職の得意分野の活用など、自然の家にある人材を活かしてプログラムを実施することができた。

(4) 課題

- ①他の事業でも同じなのだが、近年の雪不足のため、たくさんの雪を期待して集まる参加者の期待に応えられない状況になっている。
- ②年々参加家族が増えており、さまざまな状況によって指示が行きわたらないこともあった。特に集合時間部屋の清掃など徹底するのが難しいところがある。
- ③親子事業ということで、相部屋になるため理解を得るのが難しいところがある。

担当：企画指導専門職 奥山 洋